

# 東海大学医学部東洋医学講座

責任者	今井 裕	Yutaka Imai
准教授	新井 信	Makoto Arai
講 師	荒井 勝彦	Katsuhiko Arai
講 師	日置智津子	Chizuko Hioki
非常勤講師	田代 眞一	Shin-ichi Tashiro
非常勤講師	張 民浩	Tamihiro Cho
非常勤講師	高野 昭人	Akihito Takano
兼 任	泉 義雄	Yoshio Izumi
兼 任	高士 将典	Masanori Takashi

## ◇沿 革

東海大学医学部東洋医学講座はツムラ寄付講座として平成14年10月に東海大学医学部に設置された。平成17年4月に常勤医師として新井信助教授（平成19年より准教授）が赴任してから、いわゆる講座としての活動を本格的に開始した。翌18年1月には荒井勝彦講師、同年7月には日置智津子講師が赴任し、平成21年には学生教育充実のため、昭和薬科大学薬用植物園長の高野昭人先生が非常勤講師に着任した。これにより診療、教育、研究体制が充実し、現在に至っている。

東海大学医学部長の今井裕教授が東洋医学講座責任者を兼務している。

## ◇教育概要

東海大学では平成15年度から東洋医学講座が主講する東洋医学の学生講義が始まった。講義コマ数は当初は選択科目9時間、前後期2回だったが、平成19年度から一部が必修となり、平成20年度からは東洋医学授業時間数は多くの選択科目を含めて合計48時間となった。以下に平成22年度の講義概要を示す。

1年生では「医学入門」という必修講義の中で1時間の東洋医学の講義があり、それに関連した課題を自分たちで調べて6時間の発表会を行う。3年生は薬用植物と生薬に親しむことをテーマに昭和薬科大学薬用植物園見学などを行う計9時間の選択講義「東洋医学Ⅰ」がある。4年生になると必修科目として全員が鍼灸も含めた東洋医学概論を6時間学び、その後に筆記試験、さらに続いて少人数グループによる体験型実習を履修する。実習は4年生を3グループに分け、毎週1グループ（38～39名）をさらに3つの小グループ（12～14名）に分け、漢方・鍼灸・生薬の3種類の実習を各1時間、計3時間でローテーションする。興味のある4年生に対しては、さらに選択科目とし

て9時間の東洋医学各論「東洋医学Ⅱ」および9時間の模擬患者を使ったPBL形式の演習授業「東洋医学Ⅲ」も用意している。6年生のクリニカルクラークシップでも12名の学生が1週間の外来見学を主体とした臨床実習を受けることができる。

東海大学医学部における漢方卒前教育のスタイルはこれではほぼ完成したと考えていて、今後は継続してその内容の評価と再検討を行うとともに、卒後教育の導入を検討する必要がある。

## ◇診療概要

東海大学医学部付属病院では東洋医学科という独立した診療科として、漢方外来と鍼灸外来のいずれかを毎日午前午後1ブースで行っている。患者数は月間500～600名、鍼灸外来は40～60名で推移している。診療ブースは他科と並列に大学病院内にあるため、他科からの紹介も多く、難治性疾患患者が比較的多いことなどが特徴であろう。

平成22年に当科を初診した387名の患者の受診動機を分析すると、最も多かったものは大学病院の他科からの紹介で全体の16%、次いで漢方外来チラシを見て受診した人が15%、テレビや新聞、雑誌などのメディアを見て来院した人が15%、知人や友人からの紹介が13%、東洋医学講座ホームページなどのインターネットを見て受診した人が11%、他院からの紹介が11%、家族の紹介が9%、漢方教室や東洋医学セミナーなどの患者向け普及啓蒙活動がきっかけとなって受診した人が6%、本学の学生や職員が2%、受付案内で紹介された人が2%であった。昨年と比較し、新聞の全国版に大きく掲載されたことが受診のきっかけになった初診患者が多かったことが特徴である。大学内や学外に普及啓蒙活動を行うとともに、マスクミ等に宣伝することにより、漢方外来の存在を一般に広めることも、漢方の普及には非常に重要と考えられる。

また、初診患者の主訴は神経痛・しびれが最も多くて10%を占め、次いで冷え6.5%、頭痛3.6%、めまい3.4%、感冒（熱・咳・痰・鼻汁）2.8%と続く。

領域別に解析すると、整形外科領域が28%と最も多く、産婦人科13%、耳鼻咽喉科9.6%、消化器科7.8%、精神科・心療内科7.5%、皮膚科6.5%の順となっている。

年代別では、60歳代と70歳代が最も多くて各

20%、次いで50歳代が15%、30歳代13%、40歳代10%、20歳代9%、80歳代7%、10歳代と10歳未満が各3%という割合だった。当院でも田の施設同様に、中高年齢者の受診が多かった。

初診時の処方では、桂枝茯苓丸が最も多くて387例中37例、次いで防己黄耆湯32例、加味逍遙散29例、八味地黄丸15例、苓桂朮甘湯14例、当帰芍薬散13例、柴朴湯13例、六君子湯12例、柴胡桂枝湯12例、大柴胡湯11例、柴胡加竜骨牡蛎湯11例、抑肝散10例という順だった。

#### ◇研究概要

平成22年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業「統合医療を推進するための日本伝統医学の標準化」研究班の主管大学として、各施設の研究分担者とともに、中国や韓国とは異なる日本伝統医学である漢方、薬学、鍼灸の特徴を明確にし、標準化に必要な学問的基盤整備を行う研究に着手した。本講座のメンバーは新井信（研究代表者）、日置智津子（研究分担者）、高士将典（研究協力者）である。研究期間は2年間で、その成果の一つとして『日本伝統医学テキスト』としてまとめ、公表する予定である。

平成22年度文部科学省科学研究費補助金事業基盤研究C「漢方薬の分子基盤の構築と臨床応用」を4年間の研究期間で開始した。本講座のメンバーは新井信（研究代表者）、荒井勝彦、日置智津子（研究分担者）である。本研究は学内では、すでに臨床系と基礎系が共同研究を行う「医学部研究ユニット」として、分子生命科学教室と共同で線虫の寿命延長測定システムを用いた大黃の寿命延長効果に関する研究をスタートさせている。本学には抗加齢医学研究を目的としたライフケアセンターがあり、次年度以降には遺伝子解析も含めた研究、マウスやヒトなどの高等動物への応用などを進める計画である。

日置は臨床に密着したテーマを主軸として漢方研究を展開しており、現在までに、生活習慣病を惹起する要因の東洋医学的探索を発端にして、予防策、治療法について検討している。方剤としては防風通聖散の抗肥満効果、特に内蔵脂肪減量効果やインスリン抵抗性改善効果につき着目し、主たる作用機序と臨床研究データは既に報告しているが、肥満症に関わる遺伝子と効果については中間点にある。今までの研究データをもとに、他の方剤の脂質および糖代謝改善効果のつき予測実験の企画などを計画している。

#### ◇FD活動・研究会活動の概要 臨床漢方薬理研究会

臨床漢方薬理研究会は日置智津子講師が代表を務め、東海大学医学部東洋医学講座に事務局を置く。1993年に設立され、会員数は現在70余名、機関誌として『臨床漢方薬理研究会誌』を年1回発行し、UMINにも登録された公的研究会である。平成22年度には105回例会を京都薬科大学にて開催した。

#### 神奈川県4大学医学部FDフォーラム・漢方医学ユニット

神奈川県4大学医学部（北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東海大学）が医学部漢方教育のための人材発掘およびカリキュラム標準化を目標に、平成20年度に4大学医学部長を中心に漢方医学FDフォーラムを立ち上げた。その後、医学部教育全体の問題に広く捉えて「神奈川県4大学医学部FDフォーラム・漢方医学ユニット」と改称した。合同事務局を本講座に置いている。合同研修会を年2回開催し、平成22年7月には北里大学が主管校となり第4回合同研修会、12月には聖マリアンナ医科大学が主管校となり第5回合同研究会を相模原市で開催した。

#### ◇普及啓蒙活動

患者向けの漢方勉強会である「漢方教室」を3ヶ月に1回、第3土曜日午後2時～3時30分に大学内の講堂で開催している。内容はテーマ毎にその概要と治療について漢方（60分）と鍼灸（30分）で解説し、質疑応答を受けるもので、本年度は3月、6月、9月、12月の4回開催した。3月の第20回漢方教室は「こんな時には漢方を」というテーマで参加者数は84人、続いて6月「漢方でお肌がつるつる」120人、9月「子供のための漢方」32人、12月「漢方で体がぽっかぽか」146人であった。特に12月に行った冷えに関する講演は過去最高の参加者数だった。宣伝方法は、東海大学全体が組織としてメディア発信を委託契約している会社を通して、地方紙を中心とした新聞の催し物案内、地域のコミュニティー雑誌等に、毎回の開催通知が掲載されている。

開設時から年1回開催してきた市民公開講座である「東洋医学セミナー」を、昨年度から神奈川県西部地区の漢方ネットワーク基盤を築くことを視野に入れ、海老名総合病院と東名厚木病院の3施設共同で開催することにした。平成22年度は平成23年3月に海老名市で開催する予定である。このような漢方地域連携ネットワークは患者のニーズに応じた漢方の普及発展のために必要なだけでなく、大学を含む地域の主要な教育研修病院との連携を強め、卒後研修における漢方教育の基盤構築に役立つと考えている。今後も積極的に展

開していく予定である。

その他、ホームページ、院内チラシ等で普及啓蒙活動を積極的に行っている。

#### ◇著書・分担執筆

- 1) 新井信：歯科におけるくすりの使い方，漢方を処方する先生方へ．p.162-164, デンタルダイヤモンド社，東京，2010.12

#### ◇総説

- 1) 新井信：消化器疾患と漢方治療. 日本消化器病学会雑誌107(10)：1577-1585, 2010
- 2) 新井信：更年期女性の冷えに対する漢方療法について. 日本更年期医学会ニューズレター15(3)：21, 2010
- 3) 荒井勝彦：鍼灸特集 機能性胃腸障害の基礎知識. 中医臨床31(1)：114-116, 2010
- 4) 高士将典：鍼灸特集内科的疾患の治療を求めて. 中医臨床31(1)：170-120, 2010
- 5) 荒井勝彦：鍼灸特集 顔面痛の基礎知識. 中医臨床31(2)：118-121, 2010
- 6) 荒井勝彦：鍼灸特集 痺症の基礎知識. 中医臨床31(3)：118-121, 2010
- 7) 荒井勝彦：鍼灸特集 腰痛の基礎知識. 中医臨床31(4)：106-109, 2010
- 8) 高士将典：鍼灸 OSAKA 女性の気持ちとともに不妊治療から妊娠中の諸症状まで治療できた例. Vol126. No3. 53-58, 2010
- 9) 高士将典：東洋医学鍼灸ジャーナル 症例クローズアップ 不眠症へのアプローチ 睡眠障害(解説/症例報告). 14巻77-82, 2010

#### ◇学術論文

- 1) 新井信, 岡部竜吾, 大木島さや香, 小島原典子, 池田郁雄, 棚田里江, 佐藤弘, 田代眞一, 安井敏之, 石井康智：長野県長谷村における漢方医学に基づいた自覚症状に関する疫学調査. 日本東洋医学雑誌61(2)：154-168, 2010
- 2) 日置智津子：艾葉香氣成分のアトピー性皮膚炎に対する効果の検討-4種の生薬を含む軟膏の調整. アロマセラピー学雑誌10(1)：25-32, 2010
- 3) Chizuko Hioki, Yoshida T, Kogure A, Yoshimoto K: Growth Hormone Administration Composition Associated with Changes of Thermogenesis in Obese KK-A Mice. The Open Endocrinology, 3-8, 2010
- 4) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信：続・女子医大雑話50(187), 思いがけない効果を見た症例. 漢方の臨床57(1)：123-130, 2010

- 5) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美：続・女子医大雑話51(188), 典型的な症例. 漢方の臨床57(2)：287-297, 2010
- 6) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子：続・女子医大雑話52(189), 新型インフルエンザA(H1N1)の3症例. 漢方の臨床57(3)：432-437, 2010
- 7) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾：続・女子医大雑話53(190), アレルギー性鼻炎の症例ほか. 漢方の臨床57(4)：591-595, 2010
- 8) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅：続・女子医大雑話54(191), 漢方薬で蘇った金魚の治療例. 漢方の臨床57(5)：751-753, 2010
- 9) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信：続・女子医大雑話55(192), 胃もたれ・嘔気・嘔吐・げっぷに対する生姜の効果. 漢方の臨床57(6)：915-921, 2010
- 10) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美：続・女子医大雑話56(193), 加味逍遙散の5症例. 漢方の臨床57(7)：1105-1109, 2010
- 11) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子：続・女子医大雑話57(194), 頭痛の3症例. 漢方の臨床57(8)：1377-1382, 2010
- 12) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾：続・女子医大雑話58(195), 高齢者の漢方治療. 漢方の臨床57(9)：1494-1497, 2010
- 13) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅：続・女子医大雑話59(196), 動悸の2症例. 漢方の臨床57(10)：1704-1708, 2010
- 14) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信：続・女子医大雑話60(197), 葛根湯加川芎辛夷で血圧上昇を見た慢性副鼻腔炎の一例. 漢方の臨床57(11)：1848-1853, 2010
- 15) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美：続・女子医大雑話61(198), 補剤に半夏厚朴湯を加えてさらに調子がよくなった2症例. 漢方の臨床57(12)：2061-2084, 2010
- 16) 荒井勝彦, 日置智津子, 張民浩, 高士将典, 新井信, 和泉俊一郎：治療中に治療薬剤の変更を要した出血性潰瘍性大腸炎の一例. 日本東洋医学雑誌61(3)：308-312, 2010
- 17) 荒井勝彦, 高士将典：東海鍼灸医案(16), 母指基部変形性関節症の1例. 漢方の臨床57(1)：143-147, 2010
- 18) 高士将典, 荒井勝彦：東海鍼灸医案(17), 認知症. 漢方の臨床57(2)：325-329, 2010
- 19) 高士将典, 荒井勝彦：東海鍼灸医案(18), 緩和ケア. 漢方の臨床57(3)：491-494, 2010
- 20) 高士将典, 荒井勝彦：東海鍼灸医案(19), 肋間神経痛. 漢方の臨床57(4)：617-620, 2010

- 21) 荒井勝彦, 高士将典: 東海鍼灸医案(20), 坐骨神経痛の一例. 漢方の臨床 57(5): 768-773, 2010
- 22) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(21), 肘関節痛. 漢方の臨床57(6): 943-947, 2010
- 23) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(22), 月経痛. 漢方の臨床57(7): 1125-1130, 2010
- 24) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(23), こむら返り. 漢方の臨床57(9): 1533-1537, 2010
- 25) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(25), 顔面神経麻痺. 漢方の臨床57(10): 1727-1730, 2010
- 26) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(26), 不妊症. 漢方の臨床57(11): 1897-1901, 2010
- 27) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(27), 瞑眩. 漢方の臨床57(12): 2081-2084, 2010
- 28) 高士将典: 泄瀉 便からの考察(解説/症例報告/特集). 漢方研究Trivium134号19-21, 2010

#### ◇その他の執筆

- 1) 新井信: 生薬シリーズ⑤生薬の組み合わせによる運用(3) 竜骨・牡蛎. 薬事日報10786: 1, 2010
- 2) 新井信: 漢方シリーズ⑥生薬の組み合わせによる運用(4) 厚朴・蘇葉. 薬事日報10769: 2, 2010
- 3) 新井信: 漢方シリーズ⑦生薬の組み合わせによる運用(5) 柴胡・黄芩. 薬事日報10808: 3, 2010
- 4) 新井信: 漢方シリーズ⑧生薬の組み合わせによる運用(6) 黄連・黄芩. 薬事日報10824: 4, 2010
- 5) 新井信: 漢方シリーズ⑨生薬の組み合わせによる運用(7) 麻黄・甘草/乾姜・甘草. 薬事日報10836: 5, 2010
- 6) 新井信: 漢方シリーズ⑩生薬の組み合わせによる運用(8) 四物湯類. 薬事日報10845: 6, 2010
- 7) 新井信: 漢方事例勉強会④不定愁訴編-主訴: 疲れやすい. 武田薬報459: 18-22, 2010
- 8) 新井信: 漢方事例勉強会⑤更年期の症状-主訴: 冷え性. 武田薬報460: 18-22, 2010
- 9) 新井信: 漢方シリーズ⑪生薬の組み合わせによる運用(9) 桂枝湯類. 薬事日報10862: 5, 2010
- 10) 新井信: 臨床で用いられる漢方・生薬⑫一味のさじ加減私の大好きな生薬-大黄-. 薬事日報10871: 6, 2010
- 11) 新井信: 漢方事例勉強会 番外編, 胃腸関連漢方薬の特徴と勧め分け~ストレス対応の漢方処方~. 武田薬報461: 11-14, 2010

#### ◇特別講演・教育講演・シンポジウム・招待講演

- 1) 新井信: 漢方教育のミニマム・スタンダードについて考える-患者のニーズに即した全人的医療を行うために-. 第61回日本東洋医学会学術総会シンポジウム, 2010.6, 名古屋
- 2) 新井信: 大黄の薬理と臨床応用. 第331回東

北大学大学院薬学研究科セミナー特別講演, 2010.7, 仙台

- 3) 新井信: 漢方エキス剤の活用術. 第14信州脳神経漢方研究会, 2010.7, 松本

#### ◇学術講演・その他の講演

- 1) 新井信: 第4回徳島kampo研究会 漢方外来の役割とは~東海大学の現状から~. 徳島大学, 2010.2.10
- 2) 新井信: (社)日本東洋医学会 医学部・医科大学生のための東洋医学卒前セミナー, 昭和大学, 2010.8.23
- 3) 新井信: 第462回小田原医師会学術講演会, 足柄上病院, 2010.8.6
- 4) 新井信: 中野区内科医会漢方グループ講演会, 東京, 2010.9.28
- 5) 新井信: 座間・綾瀬・海老名産婦人科医学会学術講演, 海老名, 2010.10.26
- 6) 新井信: 日本漢方協会漢方特別講座最新の漢方治療, 不定愁訴. 慶応義塾大学, 2010.12.19

#### ◇研究会・学会発表

- 1) Makoto Arai, Masanori Takashi, Katsuhiko Arai, Chizuko Hioki: Do healthy medical students have a disorder of qi, blood, or water? (poster). The 15th International Congress of Oriental Medicine, 2010.2.28. Makuhari Messe, Tokyo, Japan, abstract p.225
- 2) Masanori Takashi, Makoto Arai, Katsuhiko Arai, Chizuko Hioki, Tadashi Miyamori: An attempt at acupuncture and Moxibustion in palliative care. (poster). The 15th International Congress of Oriental Medicine, 2010.2.28. Makuhari Messe, Tokyo, Japan, abstract p.240
- 3) 日置智津子: 生薬エキスNC/Nga TndCrlj マウスのアトピー様皮膚症状の改善効果. 日本薬学会第130年会. 2010.3. 岡山
- 4) Chizuko Hioki: Herbal ointment improves troubles in atopic dermatitis in rat only NC/Nga mice also atopic dermatitis oatuebts. 21世紀人類と健康フォーラム2010.4, 中国・長春
- 5) 新井信: プロブレムリストを用いた新しい漢方教育方法の提案. 第61回日本東洋医学会学術総会, 2010.6, 名古屋
- 6) 日置智津子: 生体温度調節における生薬, 特に麻黄と桂皮の役割についての検討. 第61回日本東洋医学会学術総会, 2010.6, 名古屋
- 7) 日置智津子: 東洋医学の感性的理論に関する概念の獲得を目指した指導の提案(poster). 第

42回日本医学教育学会, 2010.7, 東京

- 8) 荒井勝彦:方剂検討セッション5.第20回日本東洋医学会関東甲信越支部 神奈川県部会学術大会, 第35回神奈川県東洋医学会, 2010.10, 横浜
- 9) 荒井勝彦:桂枝茯苓丸の運用方.第67回日本東洋医学会関東甲信越支部総会, 2010.10, 埼玉

#### ◇学生講義

##### 〈東海大学〉

- 1) 1年生必修(授業1コマ, 発表5コマ):医学入門・未来の医学, 新井信
- 2) 3年生選択(9コマ):東洋医学Ⅰ. 荒井勝彦, 日置智津子, 高野昭人, 田代眞一
- 3) 4年生必修(6コマ):臨床医学B・東洋医学. 新井信
- 4) 4年生必修(9コマ):東洋医学実習. 新井信, 荒井勝彦, 日置智津子, 高士将典
- 5) 4年生選択(9コマ):東洋医学Ⅱ. 日置智津子, 張民浩, 荒井勝彦
- 6) 4年生選択(9コマ):東洋医学Ⅲ. 新井信,
- 7) 6年生選択(1週間×12回):クリニカルクラークシップ・東洋医学.新井信, 荒井勝彦, 日置智津子

##### 〈他大学〉

- 1) 新井信:藤田保健衛生大学医学部3年生. 2010.6.8
- 2) 新井信:東海大学医療技術短期大学2年生. 2010.6.18
- 3) 新井信:東北大学薬学部4年生, 集中講義. 2010.6.24, 7.1, 7.8(3日間)
- 4) 新井信:新潟大学医学部6年生. 2010.7.30
- 5) 新井信:早稲田大学人間科学部4年生. 2010.11.26, 12.3(2回)

#### ◇学会・研究会主催

- 1) 臨床漢方薬理研究会第105回例会.2010.9.19,京都
- 2) 厚生労働科学研究費事業 アジアにおける伝統医学の展望. 2010.9.20, 京都
- 3) 厚生労働科学研究費事業 統合医療セミナー. 2010.10.2～3, 東京

#### ◇普及・啓蒙活動

- 1) 新井信, 高士将典:第20回漢方教室, こんな時には漢方を-漢方や鍼灸ってどんな治療?- . 2010.3.20, 東海大学医学部講堂
- 2) 新井信:日本薬用植物友の会・仙台講演会, 健やかに過ごすために役立つ漢方.2010.4.24, 仙台
- 3) 荒井勝彦:東海大学医学部ランチョンセミナー, 炎症性腸疾患における現代治療と漢方治療. 2010.5.18, 東海大学医学部
- 4) 新井信, 高士将典:第21回漢方教室, 漢方でお肌がつつるつつる-アトピー・肌荒れ・にきびは

もうイヤ-. 2010.6.18, 東海大学医学部講堂

- 5) 新井信, 高士将典:第22回漢方教室, 子どものための漢方-体質改善で元気な子に!-. 2010.9.18, 東海大学医学部講堂
- 6) 荒井勝彦:東海大学医学部ランチョンセミナー, 東洋医学的診療法について. 2010.11.30, 東海大学医学部
- 7) 新井信, 高士将典:第23回漢方教室, 漢方で体がぼっかぼか-冷えは万病のもと-. 2010.12.18, 東海大学医学部講堂

#### ◇マスコミ

- 1) 新井信:ラジオNIKKEI, TUMURA Medical Today, 小青竜湯(1), 2010.5.12
- 2) 新井信:ラジオNIKKEI, TUMURA Medical Today, 小青竜湯(2), 2010.6.9